

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
防犯対策事業	市民経済環境部	市民活動推進課	市民協働安全班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
青色防犯パトロールの実施回数	件	450	393	500		500	
刑法犯認知件数	件	400	368	390		380	

評価	平成30年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	青色防犯パトロール回数は、目標回数まで達してはいないが、日頃の防犯パトロール活動や犯罪発生件数及び防犯情報のメール配信などといった防犯啓発活動により、市内の刑法犯認知件数は、目標値よりも32件減少した。
		実績値を踏まえた今後の方針	追加等更に発展させる
		今後の方針の理由及び今後の予定	犯罪の発生を減少させるには、継続的な日頃の防犯パトロール活動が有効であるため、今後も青色回転灯装着車両を防犯パトロール団体に積極的に貸し出しを行うとともに、市民に犯罪発生件数及び防犯情報のタイムリーなメール配信などを行い、防犯啓発活動に意欲的に取り組んでいく。 また、犯罪の起こりにくい環境づくりのため、公道その他の不特定多数の人が往来する公共の場所に防犯カメラを設置する。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート

新規・継続	継続	主要事業	○	事業コード	4030217
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分	継続
--------------	----

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	市民活動推進課	市民協働安全班

事業(予算)名	防犯灯事業							
総合計画体系	施策の大綱		第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち					
	施策		施策3 安心できる地域社会を築く防犯・安全対策の充実					
	施策の展開		(2) 安心して暮らせるまちづくり					
予算科目	会計	一般	款	2	項	1	目	9
関連計画・根拠法令等	富里市防犯灯設置等補助金交付要綱							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	不明				H37	市有防犯灯リース契約期間 長期継続 10年間		

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	防犯灯の維持管理に経費がかかるため、区・自治会等が所有する防犯灯のLED化を促進する必要がある。						
	対象 (誰・何を)	市民、区・自治会						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	平成27年度に市有防犯灯のLED化を実施 区・自治会に対しても、富里市防犯灯設置等補助金の拡充によりLED化を推進し、安心して暮らせるまちづくりの推進を図る。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input checked="" type="checkbox"/> その他の民間活用 (市有防犯灯LED賃借 1、600灯)						
	事業手法 選択の理由	区・自治会を通じ、防犯灯のLED化を推進し、併せて安心して暮らせるまちづくりを推進するためには直営方式が適しているため。						
	協働の取組	有	協働の取組内容		市と区・自治会等が互いの役割を理解・協力し、幹線道路等不特定多数の人が通る主要な道路については市で、区・自治会等で防犯灯の設置及び維持管理を行っている。			

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
市有防犯灯数	灯	2,100	2,150	2,200	犯罪の防止及び歩行者等の安全確保
区・自治会等所有LED防犯灯数	灯	1,700	2,050	2,400	区・自治会等のLED化促進
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
		()			
		()			
		()			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
防犯灯事業	市民経済環境部	市民活動推進課	市民協働安全班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
市有防犯灯数	灯	2,100	2,128	2,150		2,200	
区・自治会等所有LED防犯灯数	灯	1,700	1,901	2,050		2,400	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	順調にLED化へ進捗している。また、計画的に整備を行っている路線のほか、市民から設置要望のあった箇所や、市内の主要道路で防犯灯と防犯灯の間隔が広いため、夜間暗く危険と思われる箇所に設置したことにより、市有防犯灯年間設置数の目標値を上回る防犯灯を設置した。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き区・自治会所有の防犯灯をLED化するための支援を行うことや、市の主要道路等のLED防犯灯の整備を進めることで、安心して暮らせるまちづくりの推進を図っていく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名		部等名		課等名		班等名		
交通安全対策事業		市民経済環境部		市民活動推進課		市民協働安全班		
指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	啓発事業回数	回	5	5	5	5		
評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった					
		判断理由	啓発事業回数は交通安全運動(春・夏・秋・冬)に加え、交通安全祈願式を合わせて5回実施し、目標値を達成した。富里市内の交通事故件数は昨年度に比べ30件(約25%)減少した。この結果は、各啓発事業の中で、交通安全協会や各自治会と連携し、啓発運動を強化してきた結果と考えられる。					
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続					
		今後の方針の理由及び今後の予定	交通事故の発生を今後も減少させていく必要があるため、春夏秋冬の交通安全運動での啓発活動や市内自治会等を単位とした交通安全パンフレット等の回覧、関係機関と連携しての交通安全教室の実施、交通安全啓発看板の設置など、交通安全啓発活動に意欲的に取り組んでいく。					
	令和元年度	事業効果						
		判断理由						
		実績値を踏まえた今後の方針						
		今後の方針の理由及び今後の予定						
	令和2年度	事業効果						
		判断理由						
		実績値を踏まえた今後の方針						
		今後の方針の理由及び今後の予定						

第四次実施計画事業シート

新規・継続 継続 主要事業 ○ 事業コード 6010117

➔ 【継続】の場合の区分 継続

部等名	課等名	班等名
市民経済環境部	市民活動推進課	市民協働安全班

事業(予算)名	協働のまちづくり推進事業							
総合計画体系	施策の大綱	第6章 市民と行政の気持ちの共有による自立したまち						
	施策	施策1 市民と行政の協働の仕組みづくり						
	施策の展開	(1) 協働のまちづくりの推進						
予算科目	会計	一般	款	2	項	1	目	9
関連計画・根拠法令等	富里市協働のまちづくり条例、富里市協働のまちづくり推進計画							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H20				H32	協働のまちづくり後期実行計画期間終了		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	<ul style="list-style-type: none"> 市民が中心となり活動していくうえで、あらゆる分野において協働のまちづくりを推進する必要がある。 市職員の協働に関する意識・知識を醸成することにより成果を向上させる必要がある。 						
	対象(誰・何を)	市民、地縁による団体、市民活動団体、事業者及び市						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	市民、地縁による団体、市民活動団体及び事業者並びに市が連携し、個性豊かで活力のある自立した地域社会の実現を図るため、協働のまちづくりを推進する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	富里市協働のまちづくり条例に則り、事業を進めるに当たり直営方式が適しているため。						
	協働の取組	有	協働の取組内容	市民活動全てにおいて、市民や各団体が中心となり活動している事で協働の取り組みが行われている。				

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
協働のまちづくり講座の開催	人	70	70	70	市民協働の考え方を次の世代へ継承していくため、協働のまちづくりに関する講座を開催する。
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
小学校単位の地域コミュニティ組織の設置数	組織	3	8	地域の活性化をはかるため、さまざまな市民活動団体等と連携できるよう小学校単位の地域コミュニティの形成が必要なため。	
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
協働のまちづくり推進計画の進捗	%	- ()	年次計画進捗100%	KPI	富里市協働のまちづくり条例に基づき策定した推進計画を遂行するため。
地域づくり協議会数	組織	3 (H26)	8	KPI	地域の活性化を図るため、さまざまな市民活動団体等と連携できるよう小学校単位の地域コミュニティの形成が必要なため
		()			

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
協働のまちづくり推進事業	市民経済環境部	市民活動推進課	市民協働安全班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	協働のまちづくり講座の開催	人	70	134	70		70	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	協働のまちづくり講座については、世代や分野ごとに見合った方法で実施し、実績値が目標値を上回った。 ボランティアやまちづくりへ参加のきっかけとなる、「小学生」を対象とした、「夏休み！小学生ボランティア体験」では、75名が参加した。 また、「若い世代・家族対象」に若い世代のアイデアや特技、力をまちづくりに活かしていくことを目的とした講座を開催したほか、「市民活動団体向け」に団体が運営方法を学び、さらに活動が活発になるような講座を開催した。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	市民が中心となり活動していくうえで、協働のまちづくりを推進することが必要であるため、引き続き、講座を実施するなどして、協働のまちづくりを推進していく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート

新規・継続 継続 主要事業 〇 事業コード 6010117

【継続】の場合の区分 継続

部等名 課等名 班等名
 市民経済環境部 市民活動推進課 市民協働安全班

事業(予算)名 市民活動サポートセンター事業

総合計画体系	施策の大綱	第6章 市民と行政の気持ちの共有による自立したまち						
	施策	施策1 市民と行政の協働の仕組みづくり						
	施策の展開	(1) 協働のまちづくりの推進						
予算科目	会計	一般	款	2	項	1	目	9
関連計画・根拠法令等	富里市協働のまちづくり条例、富里市協働のまちづくり推進計画							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H27				H32	協働のまちづくり後期実行計画期間終了		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	協働推進のためには、市民活動の担い手を支援すること、市民活動団体同士、市民活動団体と市など地域課題解決のためのネットワーキングやコーディネートをする拠点として機能を充実させていく必要がある。						
	対象(誰・何を)	市民活動サポートセンター						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	市民・地縁による団体・市民活動団体・事業者・市が交流しながら連携することのできる施設として、活動者が必要とする活動拠点としての機能や相談支援、ネットワークの形成など、市民活動団体等へのサポート機能を充実させる。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	将来的には、指定管理者制度への移行も検討しているが、当面は富里市協働のまちづくり推進計画を進めるに当たり、連携を密にとり業務遂行するために直営方式を選択した。						
	協働の取組	有	協働の取組内容	スタッフ育成のため、ノウハウがある中間支援組織(NPO法人)へ業務委託する。				

指標	単位	目標値			指標として設定する理由
		H30年度	R元年度	R2年度	
市民活動を行う団体数(把握しているもの)	団体	8	5	5	みんなでまちづくりを実践する協働のまちづくりを推進するため、市民活動団体を把握する。
まちづくりのサポーターの輩出	人	5	5	5	協働のまちづくりを推進するため、まちづくりの担い手の発掘・育成
富里高校との連携事業数	事業	1	1	1	協働のまちづくりを推進するため、まちづくりの担い手の発掘・育成
後期基本計画における指標	単位	実績値 H26年度	目標値 R2年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由	
市民活動を行う団体数(把握しているもの)	団体	35	80	みんなでまちづくりを実践する協働のまちづくりを推進するため、市民活動団体を把握する。	
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 R元年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由
市民活動を行う団体数(把握しているもの)	団体	35 (H26)	60	指標	みんなでまちづくりを実践する協働のまちづくりを推進するため、市民活動団体を把握する。
まちづくりのサポーターの輩出	人	(H26)	30 (累計)	KPI	協働のまちづくりを推進するため、まちづくりの担い手の発掘・育成
富里高校との連携事業数	事業	5 (H26)	50 (累計)	KPI	協働のまちづくりを推進するため、まちづくりの担い手の発掘・育成

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
市民活動サポートセンター事業	市民経済環境部	市民活動推進課	市民協働安全班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
市民活動を行う団体数(把握しているもの)	団体	8	3	5		5	
まちづくりのサポーターの輩出	人	5	8	5		5	
富里高校との連携事業数	事業	1	1	1		1	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	とみさと市民活動サポートセンターが設置されてから3年が経過して、コーディネーターの意欲的な取り組みにより、いろいろな事業も充実し、機能してきた。 利用団体数の実績値は、目標値を上回らなかったものの、順調に増えている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	協働のまちづくりを推進するためには、市民活動サポートセンターが活動の拠点となるとともに、各団体をつなぐコーディネートが重要であるため、引き続き事業を行っていく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
コミュニティ事業	市民経済環境部	市民活動推進課	市民協働安全班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	区・自治会等に加入している割合	%	55	49	55		55	

評価	平成30年度	事業効果	効果がなかった
		判断理由	高齢化が進み、区や自治会の活動に参加できなく、会費の支払いも負担になるため退会していく方が多い。また、七栄を中心にアパートや新築住宅が増え、若い世代が転入してきているが、役員をすることなどが負担となり加入しない世帯が多い。実際には、市へ登録はされていない自治会へ加入している世帯があるため、実績値の数値よりも上回っている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	開発業者・販売業者は購入者に対して自治会加入を促すように指導していく。区長会では、区・自治会の必要性を市広報などを活用し加入促進を図る。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
コミュニティセンター事業	市民経済環境部	市民活動推進課	市民協働安全班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
利用人数	人	100,000	83,969	101,000		102,000	
利用件数	件	6,200	5,798	6,300		6,400	
利用収入額	円	3,205,000	3,435,695	3,205,000		3,205,000	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	利用人数、利用件数の実績値は目標値を上回っていないが、8~9割程度達成している。また利用収入額は、実績値が目標値を上回っているため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	引き続き、自主的な活動の場を通して健康で文化的な地域コミュニティを形成するためのスペースの提供に努める。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
コミュニティ施設整備事業	市民経済環境部	市民活動推進課	市民協働推進班

指標	単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
建設の補助件数	件	1	1	1		1	
修繕等の補助件数	件	4	4	4		4	

評価	平成30年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	・集会所の建設又は修繕に係る費用の一部を補助することで、地域住民(施設利用者)が安心して安全に利用することが出来る。また、地域活動拠点としての機能を強化することで、地域の活性化が図れるため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	経年劣化している施設も多いため、修繕等をしっかり行い地域コミュニティの拠点となる必要がある。その為にも地域と市が協力して施設の管理を行っていき、地域の活性化に努めていく。
	令和元年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	令和2年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	